

第11回熊本県地域医療対策協議会	資料1 - 2
令和6年3月4日	

へき地医療拠点病院の新規指定について

【各病院指定申請書】

熊本県健康福祉部

(別紙様式1)

八地医第66号
令和5年11月1日

熊本県知事 様

申請者 住所 熊本県八代郡氷川町今151番地1
氏名 一般社団法人 八代郡医師会
代表理事 峯苦 貴明

へき地医療拠点病院指定申請書

へき地医療拠点病院の指定を受けたいので、熊本県へき地医療拠点病院指定事務処理要領第3条第1項の規定に基づき、申請します。

記

- 1 指定希望理由
- 2 活動対象地域
- 3 地域医療の実態・特性
(活動対象地域の人口や医療施設の状況、病院の特徴・取組み・課題等)
- 4 添付書類
 - (1) 病院の現況 (別記第1号様式)
 - (2) 令和4年度へき地医療活動事業実績 (別記第2号様式)
 - (3) 令和5年度へき地医療活動事業実績 (見込み) (別記第2号様式)
 - (4) 令和6年度へき地医療活動事業計画 (別記第3号様式)
 - (5) その他参考となる書類 (パンフレット等)

1. 指定希望理由

八代二次医療圏は八代市と八代郡氷川町の 1 市 1 町からなる地域です。その中で八代郡医師会は旧八代郡（現在の八代市千丁町・鏡町・坂本町・東陽町・泉町、及び八代郡氷川町）と旧八代市の一部の医療機関の会員からなる医師会で、西は八代海から東は宮崎県境まで、北は宇城市・下益城郡、南は球磨郡、葦北郡に接する東西約 50 k m、南北約 30 k m、面積約 570 k m²の広大な地域で活動しております。地域の地形的特徴としては、氷川水系上流域に位置する泉町・東陽町や球磨川水系（川辺川）上流域に位置する泉町五家荘、及び球磨川水系中流域に位置する坂本町などの山間地と、下流域に広がる平野部・臨海部があり、山間部と平野部の境には日奈久断層が走行しており、歴史的に水害や地震などの自然災害が多い地域です。

その様な地域において八代北部地域医療センターは、平成 12 年 4 月に旧八代郡で唯一の病院として八代郡医師会により開設されました。休日・夜間の救急外来を含めて、輪番制病院群の病院として二次救急の患者さんの入院受け入れを行っております。平成 28 年からは八代市泉町の泉第二小学校跡に「在宅医療・介護支援センター いずみ」を設置し、地域の医療機関や介護施設との研修会を毎年開催し、へき地、中山間地医療・介護の課題抽出や地域医療・介護連携を図っております。令和 2 年 7 月豪雨で二つの有床診療所が被災し現在地域に医療機関がなくなった坂本町では、発災直後に現地救護所を設置し災害医療を行い、その後の復興の中で坂本地域の MaaS による遠隔診療の支援（八代市デジタル医療 MaaS 推進協議会委員及び診療支援）や坂本・芦北地区の巡回診療支援（医師会会員の代診）を行っております。

医療圏内には八代市立椎原診療所と八代市立下岳診療所の二つのへき地診療所があり、八代市立下岳診療所については八代郡医師会が委託を受けその管理と週 2 回の診療を行い、八代北部地域医療センターは担当医師が診療困難な場合の代診医の派遣をすることとなっております。八代市立椎原診療所については令和 4 年 4 月から八代北部地域医療センターが管理医師の配置と週 1 回の医師派遣を行っております。

以上のような状況下において八代郡医師会の医療圏では今後も中山間地・へき地の医療体制を継続し将来に向けてさらなる整備を行うため、八代北部地域医療センターの「へき地診療拠点病院」としての指定を希望します。

2. 活動対象地域

八代2次医療圏内のへき地診療所

3. 地域医療の実態・特性

八代市立椎原診療所：令和4年4月から八代北部地域医療センターが管理医師の配置と週1回の医師派遣を行っております。

八代市立下岳診療所：八代郡医師会が八代市から委託を受け、その管理と週2回の診療を行い、八代北部地域医療センターは担当医師が診療困難な場合の代診医の派遣をすることとなっております。

その他： 今後は、中山間地にある他の診療所も医師の高齢化により活動支援が必要となる事が予測され、八代郡医師会立の八代北部地域医療センターが支援することも想定しております。

病院の現況

(病院名：八代北部地域医療センター)

病院の現況（令和5年4月1日現在）

病院の沿革：

平成12年4月1日 (2000年)	社団法人 八代郡医師会 八代郡医師会立病院として開設 80床：一般病棟20床・療養病棟60床 診療科目：内科、神経内科、呼吸器科、循環器科、外科、 リハビリテーション科
平成13年5月15日 (2001年)	標榜科目に小児外科追加（計7科目） 診療科目：内科、神経内科、呼吸器科、循環器科、外科、 リハビリテーション科、小児外科
平成14年4月1日 (2002年)	療養病床の一部を一般病床へ転換 80床：一般病棟36床・療養病棟44床
平成15年10月15日 (2003年)	標榜科目に小児科追加（計8科目） 診療科目：内科、神経内科、呼吸器科、循環器科、外科、 リハビリテーション科、小児外科、小児科
平成16年12月1日 (2004年)	標榜科目に消化器科追加（計9科目） 診療科目：内科、神経内科、呼吸器科、循環器科、外科、 リハビリテーション科、小児外科、小児科、消化器科
平成22年7月1日 (2010年)	標榜科目に肛門科追加（計10科目） 診療科目：内科、神経内科、呼吸器科、循環器科、外科、肛門科 リハビリテーション科、小児外科、小児科、消化器科

平成 24 年 4 月 1 日 一般社団法人 八代郡医師会へ法人移行

(2012 年)

平成 28 年 9 月 1 日 一般病床、療養病床の一部を地域包括ケア病床へと転換

(2016 年) 80 床：一般病棟 46 床 (一般病床 30 床・地域包括ケア病床 16 床)

療養病棟 34 床

平成 29 年 4 月 1 日 一般社団法人 八代郡医師会 八代北部地域医療センターへ名称変更

(2017 年) 標榜科目に整形外科科追加 (計 11 科目)

診療科目：内科、神経内科、呼吸器科、循環器科、外科、肛門科

リハビリテーション科、小児外科、小児科、消化器科

平成 29 年 12 月 1 日 在宅療養支援病院指定

(2017 年)

平成 31 年 4 月 1 日 89 床へ増床 (増築)

(2019 年) 89 床：一般病棟 59 床 (一般病床 37 床・地域包括ケア病床 22 床)

療養病棟 30 床

(八代市立病院閉院に伴い、9 床を受け入れ)

病児・病後児保育室「ハグ・くむ」開設

令和 4 年 2 月 4 日 新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、コロナ病床開設

(2022 年) (8 床) により時限的に特例病床 8 床増床

一般病床を 1 床休床

97 床：一般病棟 67 床 (一般病床 37 床・地域包括ケア病床 22 床・コロナ病床 8 床)

療養病棟 30 床

令和 4 年 7 月 19 日 新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、コロナ病床追加増床
 (2022 年) (+8 床) により再度時限的に特例病床 8 床追加増床

105 床：一般病棟 75 床 (一般病床 37 床・地域包括ケア病床 22 床、コロナ病床 16 床)
 療養病棟 30 床

区分	入院	外来	標榜診療科名
延べ患者数 (令和 4 年度)	30,930 人	19,892 人	内科、神経内科、呼吸器科、循環器科、外科、肛門科、 リハビリテーション科、小児外科、小児科、消化器科 整形外科
1 日平均患者数 (令和 4 年度)	91.0 人	81.9 人	
一般病床の 利用率 (令和 4 年度)	101.2%		

病院 延べ 面積 等	管理 部門 m ²	サービス 部門 m ²	診療 部門 m ²	病棟部門						その 他 m ²	合計 m ²
				一般	療養	結核	精神	感染症	合計		
				89 床	30 床	0 床	0 床	0 床	89 床		
				—	—	—	—	—	m ²	m ²	5,857 .59 m ²
備考 (付属施設があれば記入) : 病児・病後児保育室「ハグ・くむ」											

所管保健所名：八代保健所	職員数 (令和 5 年 4 月現在)				
病院の指定・認可等について： 病院群輪番制病院 在宅療養支援病院	区分	医師		看護師	
		定員*	現員	定員*	現員
無医地区等からの患者の受入状況について： (令和 4 年度地区別入院患者数/年) 八代市泉町 125 人、八代市坂本町 28 人	常勤職員	6.187 人	6 人	31 人	59 人
	非常勤職員 (常勤換算 人数)	—	1.613 人	—	3.5 人

特定地域振興法の指定状況（該当する法律の番号を○で囲む）

- (1) 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第2条第1項 (2) 離島振興法第2条第1項
(3) 山村振興法第7条第1項 (4) 豪雪地帯対策特別措置法第2条第1項及び第2項
(5) 奄美群島振興開発特別措置法 (6) 小笠原諸島振興開発特別措置法 (7) 該当せず

※医療法に定める従事者の標準数（医師・看護師）

令和4年度へき地医療活動事業実績

(病院名：八代北部地域医療センター)

(1) 無医地区及び巡回診療実施状況

市町村名	地区名	戸数	人口	巡回診療実施回数				備考
				第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	
八代市	泉町柿迫の一丁目・久連子・椎原・葉木・仁田尾・樫木	128	246	()	()	()	()	()

- (注) 1. 当該へき地医療拠点病院が担当する地域について「無医地区、無医地区に準ずる地区」(以下「無医地区等」という。)及び「巡回診療実施回数」を対応させて記入すること。
 2. 「無医地区等」の「地区名、戸数、人口」は、最近のものを記入すること。また、無医地区に準ずる地区の場合は「地区名」欄に準と記入すること。
 3. 「巡回診療実施回数」欄は、1巡回診療子一ム1日1回として当該年度の予定回数(例：第1・四半期〇〇回)を具体的に記入し、上段()に当該巡回診療に係る実診療日数(0.5日を単位とする。)を記入すること。
 4. なお、複数の無医地区等を1回の巡回診療で行う場合は、該当する無医地区等をまとめて一括記入すること。その他積雪量、冬期「備考」欄は、その地区における診療場所(例：公民館の1室、小学校の医務室等)を具体的に記入すること。また、巡回診療実施人員を医師〇人、看護師〇人、看師〇人、運転手〇人と具体的に記入すること。

(2) へき地診療所医師等派遣状況

へき地診療所等名又は特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣状況(日数)				備考	
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期		計
八代市立椎原診療所	八代市長 中村博生	八代市泉 町椎原3- 16	非常勤 (1)	管理者 医師	12	13	12	12	49	外科 週1回

(3) へき地診療所代診医等派遣状況

へき地診療所等名又は特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣状況(日数)				備考	
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期		計
八代市立下岳診療所	八代市長 中村博生	八代市泉 町下岳 1562-1	常勤医1名	医師	0	0	0	0	0	学会参加、体調不良時等

- (注) 1. 「運営状況」欄は、現在の状況及びへき地医療拠点病院から派遣を受ける前の状況についてそれぞれ常勤、非常勤(週〇回)〇〇病院から派遣等)、休診(〇年〇月〇日より休診)等を具体的に記入すること。
 2. 「派遣状況」欄は、当該へき地診療所に対する医師等の派遣の延日数を職種ごとに四半期別に記入すること。
 3. 医師等派遣状況の「備考」欄は、派遣する医師について「〇〇科 週〇回」等参考となる事項を記入すること。
 4. 代診医等派遣状況の「備考」欄は、派遣を必要とする理由を記入すること。

(4) へき地の医療従事者に対する研修会実施状況

研修会名	実施期間	講師人員	職種別参加人員	実施内容（具体的に記載すること）
泉地域医療・介護連携研修会	自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日	2人	医師4人 看護師3人 他10人	平成29年から八代北部地域医療センター主催で毎年開催している（令和2、3年度は新型コロナウイルスの影響で中止）会で、椎原診療所、横田診療所、下岳診療所、泉地区介護事業所、包括支援センター、八代市泉支所、八代市健康福祉政策課、高齢者支援課などが集い、泉地区の医療、介護、保険、福祉についてお互いの活動内容や課題を理解すると共に、中山間地・へき地での医療介護の実践の為に知識を得るための研修会。事例検討や新たな医療情報、介護制度などについての講義を行う。 令和4年11月25日（金）ハイブリッド形式 コロナ感染対策について講義 泉地区における医療介護の課題についてグループワーク

(注) 「職種別」とは、医師、看護師、保健師、助産師、栄養士、薬剤師、その他に分類する。

(5) 静止画像等伝送装置導入状況
導入状況について

(6) 総合的な診療能力を持った医師育成実施状況

1. 指導医委員会開催実施状況

開催年月日	構 成 人 員

(注) 別途研修プログラム等を添付すること

2. 指導医略歴

指 導 医 氏 名	へき地医療従事年数	指導時間／一週あたり	指 導 期 間

(7) その他県及び市町村がへき地における医療確保のため実施する事業に対する協力等

坂本地区、横田診療所、泉地区医療介護連絡協議会

令和5年度へき地医療活動事業実績(見込み)

(病院名：八代北部地域医療センター)

(1) 無医地区及び巡回診療実施状況
無医地区等(令和4年3月31日現在調査)

市町村名	地区名	戸数	人口	巡回診療実施回数				備考
				第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	
①八代市 ②芦北町	①泉町 柿迫の 部・久連子・椎 原・葉木・仁田 尾・榎木 ②上原	①126 ②	①232 ②29	()	()	(0.5日)	()	②峯吉医院が実施している巡回診療について、必要時の代診
				()	()	②1回	()	

(注) 1. 当該へき地医療拠点病院が担当する地域について「無医地区、無医地区に準ずる地区」(以下「無医地区等」という。)及び「巡回診療実施回数」を対応させて記入すること。
2. 無医地区等の「地区名、戸数、人口」は、最近のものを記入すること。また、無医地区に準ずる地区の場合は「地区名」欄に準と記入すること。
3. 「巡回診療実施回数」欄は、1巡回診療チーム1日1回として当該年度の予定回数(例：第1・四半期〇〇回)を具体的に記入し、上段()に当該巡回診療に係る実診療日数(0.5日を単位とする。)を記入すること。
4. なお、複数の無医地区等を行う場合は、該当する無医地区等をまとめて一括記入すること。その他積雪量、冬期「備考」欄は、その地区における診療場所(例：公民館の1室、小学校の医務室等)を具体的に記入すること。また、巡回診療実施人員を医師〇人、看護師〇人、看護師〇人、運転手〇人と具体的に記入すること。

(2) へき地診療所医師等派遣状況

へき地診療所等名又は特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣状況(日数)				備考
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	
八代市立椎原診療所	八代市長 中村博生	八代市泉 町椎原3- 16	非常勤 (1)	管理者 医師	12	12	12	12	48 外科 週1回

(3) へき地診療所代診医等派遣状況

へき地診療所等名又は特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣状況(日数)				備考
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	
八代市立下岳診療所	八代市長 中村博生	八代市泉 町下岳 1562-1	常勤医1名	医師	0	0	0	0	0 学会参加、体調不良時等

(注) 1. 「運営状況」欄は、現在の状況及びへき地医療拠点病院から派遣を受ける前の状況についてそれぞれ常勤、非常勤(週〇回〇〇病院から派遣等)、休診(〇年〇月〇日より休診)等を具体的に記入すること。
2. 「派遣状況」欄は、当該へき地診療所に対する医師等の派遣の延日数を職種ごとに四半期別に記入すること。
3. 医師等派遣状況の「備考」欄は、派遣する医師について「〇〇科 週〇回」等参考となる事項を記入すること。
4. 代診医等派遣状況の「備考」欄は、派遣を必要とする理由を記入すること。

(4) へき地の医療従事者に対する研修会実施状況

研修会名	実施期間	講師人員	職種別参加人員	実施内容（具体的に記載すること）
泉地域医療・介護連携研修会	自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日	2人	医師4人 看護師3人 他10人	平成29年から八代北部地域医療センター主催で毎年開催している（令和2、3年度は新型コロナウイルスの影響で中止）会で、椎原診療所、横田診療所、下岳診療所、泉地区介護事業所、包括支援センター、八代市泉支所、八代市健康福祉政策課、高齢者支援課などが集い、泉地区の医療、介護、保険、福祉についてお互いの活動内容や課題を理解すると共に、中山間地・へき地での医療介護の実践の為の知識を得るための研修会。事例検討や新たな医療情報、介護制度などについての講義を行う。

(注) 「職種別」とは、医師、看護師、保健師、薬剤師、栄養士、産科師、助産師、その他に分類する。

(5) 静止画像等伝送装置導入状況
導入状況について

(6) 総合的な診療能力を持った医師育成実施状況

1. 指導医委員会開催実施状況

開催年月日	構 成 人 員

(注) 別途研修プログラム等を添付すること

2. 指導医略歴

指導医氏名	へき地医療従事年数	指導時間/一週あたり	指導期間

(7) その他県及び市町村がへき地における医療確保のため実施する事業に対する協力等

坂本地区、横田診療所、泉地区医療介護連絡協議会

令和6年度へき地医療活動事業計画

(病院名：八代北部地域医療センター)

(1) 無医地区及び巡回診療実施計画

市町村名	地区名	戸数	人口	巡回診療実施予定回数					備考
				第1・四半期 (0.5日)	第2・四半期 (0.5日)	第3・四半期 (0.5日)	第4・四半期 (0.5日)	計	
①八代市 ②芦北町	①泉町柿迫の一 部・久連子・椎 原・葉木・仁田 尾・樺木 ②上原	①126 ②	①232 ②29	②1回	②1回	②1回	②1回	()	②峯吉医院が実施している巡回 診療について、必要時の代診

2. 無医地区等の「地区名、戸数、人口」は、最近のものを記入すること。また、無医地区に準ずる地区の場合は「地区名」欄に準と記入すること。
3. 「巡回診療実施予定回数」欄は、1巡回診療チーム1日1回として当該年度の予定回数(例：第1・四半期〇〇回)を具体的に記入し、上段()に当該巡回診療に係る実診療日数(0.5日を単位とする。)を記入すること。
4. 「備考」欄は、その地区における診療場所(例：公民館の一室、小学校の医務室等)を具体的に記入すること。その他積雪量、冬期交通途絶期間等参考となるべきことを記入すること。また、巡回診療実施人員を医師〇人、看護師〇人、看手〇人、運転手〇人と具体的に記入すること。

(2) へき地診療所医師等派遣計画

へき地診療所等名又は 特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣計画(日数)				備考	
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期		計
八代市立椎原診療所	八代市長 中村博生	八代市泉 町椎原3- 16	非常勤 (1)	管理者 医師	12	12	12	12	48	外科 週1回

(3) へき地診療所代診医等派遣計画

へき地診療所等名又は 特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣計画(日数)				備考	
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期		計
八代市立下岳診療所	八代市長 中村博生	八代市泉 町下岳 1562-1	常勤医1名	医師	未定	未定	未定	未定	未定	学会参加、体調不良等

- (注) 1. 「運営状況」欄は、現在の状況及びへき地医療拠点病院から派遣を受け前の状況についてそれぞれ常勤、非常勤(週〇回〇〇病院から派遣等)、休診(〇年〇月〇日より休診)等を具体的に記入すること。
2. 「派遣計画」欄は、当該へき地診療所に対する医師等の派遣予定の延日数を職種ごとに四半期別に記入すること。
3. 医師等派遣計画の「備考」欄は、派遣する医師について「〇〇科 週〇回」等参考となる事項を記入すること。
4. 代診医等派遣計画の「備考」欄は、派遣を必要とする理由(見込)を記入すること。

(4) へき地の医療従事者に対する研修会実施計画

研修会名	実施期間	講師人員	職種別参加人員	実施内容（具体的に記載すること）
泉地域医療・介護連携研修会	自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日	2人	医師4人 看護師3人 他10人	平成29年から八代北部地域医療センター主催で毎年開催している（令和2、3年度は新型コロナウイルスの影響で中止）会で、椎原診療所、横田診療所、下岳診療所、泉地区介護事業所、包括支援センター、八代市健康福祉政策課、高齢者支援課などが集い、泉地区の医療、介護、保護の実践の知識を得るための研修会。事例検討や新たな医療情報、介護制度などについての講義を行う。

(注) 「職種別」とは、医師、看護師、保健師、助産師、栄養士、薬剤師、その他に分類する。

(5) 静止画像等伝送装置計画
導入計画について

(6) 総合的な診療能力を持った医師育成計画

1. 指導医委員会開催計画

開催予定年月日	構成人員

(注) 別途研修プログラム等を添付すること

2. 指導医略歴

指導医氏名	へき地医療従事年数	指導時間／一週あたり	指導期間

(7) その他県及び市町村がへき地における医療確保のため実施する事業に対する協力等

坂本地区、横田診療所、泉地区医療介護連絡協議会

(別紙様式1)

人医発事第1027001号
令和5年10月27日

熊本県知事 様

申請者 住所 東京都港区高輪3-22-12
氏名 独立行政法人地域医療機能推進機構
理事長 山本 修一

へき地医療拠点病院指定申請書

へき地医療拠点病院の指定を受けたいので、熊本県へき地医療拠点病院指定事務処理要領第3条第1項の規定に基づき、申請します。

記

1 指定希望理由

平成20年度から五木村診療所へ医師1名、看護師2名体制での派遣を開始。平成23年3月村議会の承認を経て指定管理者となってから現在に至るまで医科、歯科の医療提供体制を継続しております。

当院は地域医療支援病院の指定を受けておりますが、高齢化が加速する当医療圏において今後五木村診療所の診療体制をはじめへき地医療の提供体制の維持、新たな需要への対応を想定し、へき地医療拠点病院の指定要件も満たしていると思われることから指定申請致します。

2 活動対象地域 球磨医療圏のへき地診療所（五木村診療所）

3 地域医療の実態・特性

(活動対象地域の人口や医療施設の状況、病院の特徴・取組み・課題等)

五木村診療所 人口；963人、医療施設状況；村が開設する診療所1か所のみ。週4日（月、火、木、金）当院から医師、歯科医師、看護師を派遣し、診療体制を確保しています。医科においては総合診療科を基本としつつ、外科、血液内科、代謝内科といった専門領域もカバーしております。

4 添付書類

- (1) 病院の現況（別記第1号様式）
- (2) 令和4年度へき地医療活動事業実績（別記第2号様式）
- (3) 令和5年度へき地医療活動事業実績（見込）（別記第2号様式）
- (4) 令和6年度へき地医療活動事業計画（別記第3号様式）
- (5) その他参考となる書類（パンフレット等）

病院の現況

(病院名：人吉医療センター)

病院の現況（令和5年9月1日現在）

病院の沿革：	
S22. 05. 01	公立人吉病院の一切を引き継ぎ「健康保険病院」として発足
S33. 10. 01	社団法人全国社会保険協会連合会に経営を移管
S39. 10. 06	救急告示病院指定
H11. 04. 01	第二種感染症指定病院、災害拠点病院指定
H12. 09. 18	日本医療機能評価機構認定
H17. 09. 14	基幹型臨床研修病院
H17. 10. 12	地域医療支援病院
H19. 01. 31	地域がん診療連携拠点病院指定
H20. 08. 01	五木村診療所診療支援開始
H22. 03. 31	熊本DMAT指定病院
H26. 04. 01	独立行政法人地域医療機能推進機構人吉医療センターとなる
H29. 03. 29	看護師特定行為研修実施機関（創傷管理）
H30. 04. 01	日本専門医機構総合診療専門プログラム認定
H31. 03. 01	熊本県難病医療協力病院
H31. 03. 27	地域在宅医療サポートセンター（基幹型）、熊本県地域医療拠点病院指定

区分	入院	外来	標榜診療科名
延べ患者数 (令和4年度)	人 70,902	人 71,245	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、血液内科、腫瘍内科、皮膚科、小児科、外科、呼吸器外科、血管外科、乳腺外科、消化器外科、泌尿器科、脳神経外科、整形外科、形成外科、眼科、耳鼻いんこう科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科 28診療科
1日平均患者数 (令和4年度)	人 194.25	人 294.4	
一般病床の 利用率 (令和4年度)	77.8		

病院延べ面積等	管理部門	サービス部門	診療部門	病棟部門						その他	合計
				一般	療養	結核	精神	感染症	合計		
	m ²	m ²	m ²	床	床	床	床	床	床	m ²	m ²
1,936.7	3,260.49	19,746.71	248					4	252	-	24,943.9

備考（付属施設があれば記入）：
職員住宅、予防医療センター

所管保健所名：人吉保健所	職員数（令和5年9月現在）				
病院の指定・認可等について： 上記病院の沿革のとおり	区分	医師		看護師	
		定員※	現員	定員※	現員
無医地区等からの患者の受入状況について： 令和4年度五木村診療所実績 外来患者延べ数5,100人（うち初診；615人）	常勤職員	人 17.964	人 58	人 72	人 262
	非常勤職員 (常勤換算人数)	—	人 1.8	—	人 16.1
特定地域振興法の指定状況（該当する法律の番号を○で囲む）					
(1) 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第2条第1項 (2) 離島振興法第2条第1項 (3) 山村振興法第7条第1項 (4) 豪雪地帯対策特別措置法第2条第1項及び第2項 (5) 奄美群島振興開発特別措置法 (6) 小笠原諸島振興開発特別措置法 (7) 該当せず					

※医療法に定める従事者の標準数（医師・看護師）

別記第2号様式

令和4年度へき地医療活動事業実績

(病院名：独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター)

(1) 無医地区及び巡回診療実施状況

市町村名	地区名	戸数	人口	巡回診療実施回数				備考
				第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	
		戸	人	()	()	()	()	()

- (注) 1. 当該へき地医療拠点病院が担当する地域について「無医地区、無医地区に準ずる地区」(以下「無医地区等」という。)及び「巡回診療実施回数」を対応させて記入すること。
 2. 「無医地区等」の「地区名、戸数、人口」は、最近のものを記入すること。また、無医地区に準ずる地区の場合は「地区名」欄に準と記入すること。
 3. 「巡回診療実施回数」欄は、1巡回診療チーム1日1回として当該年度の予定回数(例：第1・四半期〇〇回)を具体的に記入し、上段()に当該巡回診療に係る実診療日数(0.5日を単位とする。)を記入すること。
 4. 「備考」欄は、その地区における診療場所(例：公民館の1室、小学校の医務室等)を具体的に記入すること。その他積雪量、冬期交通途絶期間等参考となるべきことを記入すること。また、巡回診療実施人員を医師〇人、看護師〇人、看転手〇人と具体的に記入すること。

(2) へき地診療所医師等派遣状況

へき地診療所等名又は特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣状況(日数)				備考
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	
五木村診療所	熊本県球磨郡五木村甲2672-11	【診療日】 医科；毎週月、火、木、金曜日 当院から医師(週3回)、看護師等(週4回)派遣 ※火曜日公立多良木から医師のみ派遣 歯科；毎週月、木、金曜日 当院から歯科医師等(週3回)派遣	医師 看転手 事務 歯科医師 歯科衛生士 歯科助手	37 143 34.5 48 38 3 34.5	36 129.5 31 49 36 2 33.5	35 130.5 44.5 48 35 1 34.5	34 122.5 42 44 34 2 33	142 525.5 152 189 143 8 135.5	常勤医師1人 週3回派遣 (診療科；総合診療科2人、血液内科1人、外科1人、代謝内科1人 計5人のうち毎回1人) 常勤歯科医師1人 週3回派遣 (歯科3人のうち毎回1人) ※毎週火曜日の公立多良木病院医師は総合診療科1名(公立多良木から派遣している分については当院から公立多良木へ謝金支払)

(3) へき地診療所代診医等派遣状況

へき地診療所等名又は特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣状況(日数)				備考
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	
		戸	人	()	()	()	()	()	

- (注) 1. 「運営状況」欄は、現在の状況及びへき地医療拠点病院から派遣を受ける前の状況についてそれぞれ常勤、非常勤(週〇回)〇〇病院から派遣等)、休診(〇年〇月〇日より休診)等を具体的に記入すること。
 2. 「派遣状況」欄は、当該へき地診療所に対する医師等の派遣の延日数を職種ごとに四半期別に記入すること。
 3. 医師等派遣状況の「備考」欄は、派遣する医師について「〇〇科 週〇回」等参考となる事項を記入すること。
 4. 代診医等派遣状況の「備考」欄は、派遣を必要とする理由を記入すること。

(4) へき地の医療従事者に対する研修会実施状況

研修会名	実施期間	講師人員	職種別参加人員	実施内容 (具体的に記載すること)
	自 年 月 日 至 年 月 日	人	人	

(注) 「職種別」とは、医師、看護師、保健師、助産師、栄養士、薬剤師、その他に分類する。

(5) 静止画像等伝送装置導入状況
導入状況について

(6) 総合的な診療能力を持った医師育成実施状況

1. 指導医委員会開催実施状況

開催年月日	構成人員

(注) 別途研修プログラム等を添付すること

2. 指導医略歴

指導医氏名	へき地医療従事年数	指導時間/一週あたり	指導期間

(7) その他県及び市町村がへき地における医療確保のため実施する事業に対する協力等

--

別記第2号様式

令和5年度へき地医療活動事業実績(見込)

(病院名：独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター)

(1) 無医地区及び巡回診療実施状況

市町村名	地区名	戸数	人口	巡回診療実施回数				備考
				第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	
				()	()	()	()	

- (注) 1. 当該へき地医療拠点病院が担当する地域について「無医地区、無医地区に準ずる地区」(以下「無医地区等」という。)及び「巡回診療実施回数」を対応させて記入すること。
 2. 「無医地区等」の「地区名、戸数、人口」は、最近のものを記入すること。また、無医地区に準ずる地区の場合は「地区名」欄に準と記入すること。
 3. 「巡回診療実施回数」欄は、1巡回診療子一ム1日1回として当該年度の予定回数(例：第1・四半期〇〇回)を具体的に記入し、上段()に当該巡回診療に係る実診療日数(0.5日を単位とする。)を記入すること。
 4. 「備考」欄は、その地区における診療場所(例：公民館の1室、小学校の医務室等)を具体的に記入すること。その他積雪量、冬期交通途絶期間等参考となることを記入すること。また、巡回診療実施人員を医師〇人、看護師〇人、看転手〇人と具体的に記入すること。

(2) へき地診療所医師等派遣状況

へき地診療所等名又は特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣状況(日数)				備考	
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期		
五木村診療所	五木村	熊本県球磨郡五木村甲2672-11	【診療日】 医科：毎週月、火、木、金曜日 当院から医師(週4回)、看護師等(週4回)派遣 歯科：毎週月、木、金曜日 当院から歯科医師等(週3回)派遣	医師 看護師 看転助手 事務 歯科医師 歯科衛生士 歯科助手	49 143 34.5 48 38 3 34.5	49 129.5 81 49 36 2 33.5	48 130.5 44.5 48 35 1 34.5	44 122.5 42 44 34 2 33	190 525.5 152 189 143 8 135.5	常勤医師1人 週4回派遣 (診療科：総合診療科2人、血液内科1人、外科1人、代調内科1人 計5人のうち毎回1人) 常勤歯科医師1人 週3回派遣 (歯科3人のうち毎回1人)

(3) へき地診療所代診医等派遣状況

へき地診療所等名又は特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣状況(日数)				備考
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	
					()	()	()	()	

- (注) 1. 「運営状況」欄は、現在の状況及びへき地医療拠点病院から派遣を受ける前の状況についてそれぞれ常勤、非常勤(週〇回)〇〇病院から派遣等)、休診(〇年〇月〇日より休診)等を具体的に記入すること。
 2. 「派遣状況」欄は、当該へき地診療所に対する医師等の派遣の延日数を職種ごとに四半期別に記入すること。
 3. 医師等派遣状況の「備考」欄は、派遣する医師について「〇〇科 週〇回」等参考となる事項を記入すること。
 4. 代診医等派遣状況の「備考」欄は、派遣を必要とする理由を記入すること。

(4) へき地の医療従事者に対する研修会実施状況

研修会名	実施期間	講師人員	職種別参加人員	実施内容 (具体的に記載すること)
	自 年 月 日 至 年 月 日	人	人	

(注) 「職種別」とは、医師、看護師、保健師、助産師、栄養士、薬剤師、その他に分類する。

(5) 静止画像等伝送装置導入状況
導入状況について

(6) 総合的な診療能力を持った医師育成実施状況

1. 指導医委員会開催実施状況

開催年月日	構成人員

(注) 別途研修プログラム等を添付すること

2. 指導医略歴

指導医氏名	へき地医療従事年数	指導時間/一週あたり	指導期間

(7) その他県及び市町村がへき地における医療確保のため実施する事業に対する協力等

--

別記第3号様式

令和6年度へき地医療活動事業計画

(病院名：独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター)

(1) 無医地区及び巡回診療実施計画

市町村名	地区名	戸数	人口	巡回診療実施予定回数					備考
				第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	計	
		戸	人	()	()	()	()	()	

- (注) 1. 当該へき地医療拠点病院が担当する地域について「無医地区、無医地区に準ずる地区」(以下「無医地区等」という。)及び「巡回診療実施予定回数」を対応させて記入すること。
 2. 無医地区等の「地区名、戸数、人口」は、最近のものを記入すること。また、無医地区に準ずる地区の場合は「地区名」欄に準と記入すること。
 3. 「巡回診療実施予定回数」欄は、1巡回診療チーム1日1回として当該年度の予定回数(例：第1・四半期〇〇回)を具体的に記入し、上段()に当該巡回診療に係る実診療日数(0.5日を単位とする。)を記入すること。
 4. なお、複数の無医地区等を行う場合は、該当する無医地区等をまとめて一括記入すること。その他積雪量、冬期交差「備考」欄は、その地区における診療場所(例：公民館の一室、小学校の医務室等)を具体的に記入すること。また、巡回診療実施人員を医師〇人、看護師〇人、運転手〇人と具体的に記入すること。

(2) へき地診療所医師等派遣計画

へき地診療所等名又は特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣計画(日数)				備考
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	
五木村診療所	熊本県球磨郡五木村甲2672-11	【診療日】 内科：毎週月、火、木、金曜日 当院から医師(週4回)、看護師等(週4回)派遣 歯科：毎週月、木、金曜日 当院から歯科医師等(週3回)派遣	医師 看護師 看護助手 事務 歯科医師 歯科衛生士 歯科助手	49 143 34.5 48 38 3 34.5	49 129.5 31 49 36 2 33.5	48 130.5 44.5 48 35 1 34.5	44 122.5 42 44 34 2 33	190 525.5 152 189 143 8 135.5	常勤医師1人 週4回派遣 (診療科：総合診療科2人、血液内科1人、外科1人、代謝内科1人、計5人のうち毎回1人) 常勤歯科医師1人 週3回派遣 (歯科3人のうち毎回1人)

(3) へき地診療所代診医等派遣計画

へき地診療所等名又は特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣計画(日数)				備考
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	

- (注) 1. 「運営状況」欄は、現在の状況及びへき地医療拠点病院から派遣を受ける前の状況についてそれぞれ常勤、非常勤(週〇回〇〇病院から派遣等)、休診(〇年〇月〇日より休診)等を具体的に記入すること。
 2. 「派遣計画」欄は、当該へき地診療所に対する医師等の派遣予定の延日数を職種ごとに四半期別に記入すること。
 3. 医師等派遣計画の「備考」欄は、派遣する医師について「〇〇科 週〇回」等参考となる事項を記入すること。
 4. 代診医等派遣計画の「備考」欄は、派遣を必要とする理由(見込)を記入すること。

(4) へき地の医療従事者に対する研修会実施計画

研修会名	実施期間	講師人員	職種別参加人員	実施内容（具体的に記載すること）
	自 年 月 日 至 年 月 日	人	人	

(注) 「職種別」とは、医師、看護師、保健師、助産師、栄養士、薬剤師、その他に分類する。

(5) 静止画像等伝送装置設置計画
導入計画について

(6) 総合的な診療能力を持った医師育成計画

1. 指導医委員会開催計画
開催予定年月日

構 成 人 員

(注) 別途研修プログラム等を添付すること

2. 指導医略歴

指 導 医 氏 名	へき地医療従事年数	指導時間／一週あたり	指 導 期 間

(7) その他県及び市町村がへき地における医療確保のため実施する事業に対する協力等

--

(別紙様式1)

天 中 発 事 1101001 号
2023 (令和5年) 年 11 月 1 日

熊本県知事 様

申請者 住所 東京都港区高輪3-22-12
氏 名 独立行政法人地域医療機能推進機構
理事長 山 本 修 一

へき地医療拠点病院指定申請書

へき地医療拠点病院の指定を受けたいので、熊本県へき地医療拠点病院指定事務処理要領第3条第1項の規定に基づき、申請します。

記

1 指定希望理由

天草医療圏は、過疎化が進んでいると同時に、医師や看護師などの医療人材は本渡地域へ偏在し、本渡地区から離れた地域では、医療の維持が困難な状況にあります。天草中央総合病院では、令和4年度からへき地である湯島に医師を派遣し、地域の診療体制を支援しています。

天草中央総合病院は、天草の中核病院であることからへき地医療拠点病院として引続きへき地の住民に対する医療提供の確保と役割を担っていく必要があります。この度、医師の確保ができたことから指定を希望いたします。

2 活動対象地域

天草医療圏

3 地域医療の実態・特性

【活動対象地域の人口や医療施設の状況】

令和2年の国勢調査によると、天草市全体の人口は75,783人で、15年前と比較し20,690人(21.4%)の減少となっています。年齢層別では0~14歳では5,069人(37.5%)、15~64歳では17,042人(32.1%)の減少、65歳以上では1,421(4.8%)の増加となっています。今後も人口減少と高齢化は続くものと考えられます。

また、天草市全体の医療機関の状況については、急性期、回復期医療を担う一般病床については本渡地域に集中しています。

【病院の取組み】

指定要件である湯島へき地診療所への医師派遣

年間 整形外科医を12回派遣（令和4年実績）

【病院の特徴】

*がん診療では、手術・抗癌剤治療・放射線治療を実施し、天草医療圏での自己完結を目指しています。

*周産期医療では、天草で安心して分娩できるように、中核病院としての役割を果たしています。

*整形外科領域では、膝関節・股関節・肩関節・脊椎・リウマチなどの手術やリハビリを実施し、天草医療圏での自己完結を目指しています。

4 添付書類

- (1) 病院の現況（別記第1号様式）
- (2) 令和4年度へき地医療活動事業実績（別記第2号様式）
- (3) 令和5年度へき地医療活動事業実績（見込み）（別記第3号様式）
- (4) 令和6年度へき地医療活動事業計画（別記第3号様式）
- (5) 病院パンフレット

別記第1号様式

病院の現況

(病院名：天草中央総合病院)

病院の現況（令和5年 4月 1日現在）

病院の沿革：

昭和21年11月	健康保険天草総合病院開設 許可病床 25床
	開設者 熊本県国民健康保険団体連合会
昭和29年 4月	開設者 財団法人熊本県社会保険協会に変更
昭和33年10月	開設者 社団法人全国社会保険協会連合会に変更
昭和35年12月	許可病床 149床
昭和46年11月	許可病床 200床
昭和63年 3月	健康管理センター竣工
令和 2年 1月	健康保険天草中央総合病院と改名
平成 7年 3月	老人保健施設竣工
平成 7年12月	災害拠点病院指定
平成12年 1月	第二種感染症医療機関指定 感染症病床4床新設 許可病床 204床
平成18年 6月	許可病床 174床
平成20年 1月	第五次医療計画地域産科中核病院承認
平成22年 8月	熊本県指定がん診療連携拠点病院指定
平成25年 8月	現在地に病院を新築
平成25年10月	許可病床 155床
平成26年 4月	開設者 独立行政法人地域医療機能推進機構天草中央総合病院に変更

区分	入院	外来	標榜診療科名
延べ患者数 (令和4年度)	人 46,804	人 63,298	内科、循環器内科、外科、整形外科、産婦人科、小児科、放射線科、皮膚科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科
1日平均患者数 (令和4年度)	人 128.2	人 261.6	
一般病床の 利用率 (令和4年度)	%		
	82.7		

病院延べ面積等	管理部門	サービス部門	診療部門	病棟部門						その他	合計
				一般	療養	結核	精神	感染症	合計		
	m ² 949	m ² -	m ² 4599	4803	174	105	-	104	m ² 5186	m ² 1272	m ² 12006
			床 139	床 10	床 2	床	床 4	床 155			

備考（付属施設があれば記入）：
介護老人施設・健康管理センター・訪問看護ステーション・居宅介護支援センター

所管保健所名：天草保健所	職員数（令和5年 4月現在）				
病院の指定・認可等について： 災害拠点病院・がん診療連携拠点病院（熊本県） 感染指定病院（熊本県）・地域周産期中核病院（熊本県）	区分	医師		看護師	
		定員※	現員	定員※	現員
無医地区等からの患者の受入状況について：	常勤職員	人 14	人 18	人 52	人 103
	非常勤職員 (常勤換算人数)	—	2人 (1.6)	—	12人 (7.9)
特定地域振興法の指定状況（該当する法律の番号を○で囲む）					
(1) <u>過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法</u> 第2条第1項 (2) 離島振興法第2条第1項 (3) 山村振興法第7条第1項 (4) 豪雪地帯対策特別措置法第2条第1項及び第2項 (5) 奄美群島振興開発特別措置法 (6) 小笠原諸島振興開発特別措置法 (7) 該当せず					

※医療法に定める従事者の標準数（医師・看護師）

令和4年度へき地医療活動事業実績

(病院名：天草中央総合病院)

(1) 無医地区及び巡回診療実施状況

市町村名	地区名	戸数	人口	巡回診療実施回数				備考	
				第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期		計
		戸	人	()	()	()	()	()	

- (注) 1. 当該へき地医療拠点病院が担当する地域について「無医地区、無医地区に準ずる地区」(以下「無医地区等」という。)及び「巡回診療実施回数」を対応させて記入すること。
 2. 無医地区等の「地区名、戸数、人口」は、最近のものを記入すること。また、無医地区に準ずる地区の場合は「地区名」欄に準と記入すること。
 3. 「巡回診療実施回数」欄は、1巡回診療チーム1日1回として当該年度の予定回数(例：第1・四半期〇〇回)を具体的に記入し、上段()に当該巡回診療に係る実診療日数(0.5日を単位とする。)を記入すること。
 なお、複数の無医地区等を行う場合は、該当する無医地区等をまとめて一括記入すること。
 4. 「備考」欄は、その地区における診療場所(例：公民館の1室、小学校の医務室等)を具体的に記入すること。その他積雪量、冬期交通途絶期間等参考となるべきことを記入すること。また、巡回診療実施人員を医師〇人、看護師〇人、看護師〇人、運転手〇人と具体的に記入すること。

(2) へき地診療所医師等派遣状況

へき地診療所等名又は特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣状況(日数)				備考	
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期		計
湯島へき地診療所	上天草市	上天草市	常勤	医師	3	3	3	3	12	整形外科医師 月1回

(3) へき地診療所代診医等派遣状況

へき地診療所等名又は特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣状況(日数)				備考
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	
		戸	人	()	()	()	()	()	

- (注) 1. 「運営状況」欄は、現在の状況及びへき地医療拠点病院から派遣を受ける前の状況についてそれぞれ常勤、非常勤(週〇回〇〇病院から派遣等)、休診(〇年〇月〇日より)を具体的に記入すること。
 2. 「派遣状況」欄は、当該へき地診療所に対する医師等の派遣の延日数を職種ごとに四半期別に記入すること。
 3. 医師等派遣状況の「備考」欄は、派遣する医師について「〇〇科 週〇回」等参考となる事項を記入すること。
 4. 代診医等派遣状況の「備考」欄は、派遣を必要とする理由を記入すること。

(4) へき地の医療従事者に対する研修会実施状況

研修会名	実施期間	講師人員	職種別参加人員	実施内容 (具体的に記載すること)
	自 年 月 日 至 年 月 日	人	人	

(注) 「職種別」とは、医師、看護師、保健師、助産師、栄養士、薬剤師、その他に分類する。

(5) 静止画像等伝送装置導入状況
導入状況について

(6) 総合的な診療能力を持った医師育成実施状況

1. 指導医委員会開催実施状況

開催年月日	構 成 人 員

(注) 別途研修プログラム等を添付すること

2. 指導医略歴

指 導 医 氏 名	へき地医療従事年数	指導時間/一週あたり	指 導 期 間

(7) その他県及び市町村がへき地における医療確保のため実施する事業に対する協力等

--

令和5年度へき地医療活動事業実績(見込み)

(病院名：天草中央総合病院)

(1) 無医地区及び巡回診療実施状況

市町村名	地区名	戸数	人口	巡回診療実施回数					備考
				第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	計	
		戸	人	()	()	()	()	()	

- (注) 1. 当該へき地医療拠点病院が担当する地域について「無医地区、無医地区に準ずる地区」(以下「無医地区等」という。)及び「巡回診療実施回数」を対応させて記入すること。
 2. 「無医地区等」の「地区名、戸数、人口」は、最近のものを記入すること。また、無医地区に準ずる地区の場合は「地区名」欄に準と記入すること。
 3. 「巡回診療実施回数」欄は、1巡回診療チーム1日1回として当該年度の予定回数(例：第1・四半期○○回)を具体的に記入し、上段()に当該巡回診療に係る実診療日数(0.5日を単位とする。)を記入すること。
 4. なお、複数の無医地区等を行う場合は、該当する無医地区等をまとめて一括記入すること。その他積雪量、冬期「備考」欄は、その地区における診療場所(例：公民館の1室、小学校の医務室等)を具体的に記入すること。また、巡回診療実施人員を医師○人、看護師○人、看師○人、運転手○人と具体的に記入すること。

(2) へき地診療所医師等派遣状況

へき地診療所等名又は特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣状況(日数)				備考	
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期		計
湯島へき地診療所	上天草市	上天草市	常勤	医師	3	3	3	3	12	整形外科医師 月1回

(3) へき地診療所代診医等派遣状況

へき地診療所等名又は特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣状況(日数)				備考
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	
		戸	人	()	()	()	()	()	

- (注) 1. 「運営状況」欄は、現在の状況及びへき地医療拠点病院から派遣を受ける前の状況についてそれぞれ常勤、非常勤(週○○回○○病院から派遣等)、休診(○年○月○日より休診)等を具体的に記入すること。
 2. 「派遣状況」欄は、当該へき地診療所に対する医師等の派遣の延日数を職種ごとに四半期別に記入すること。
 3. 医師等派遣状況の「備考」欄は、派遣する医師について「○○科 週○○回」等参考となる事項を記入すること。
 4. 代診医等派遣状況の「備考」欄は、派遣を必要とする理由を記入すること。

(4) へき地の医療従事者に対する研修会実施状況

研修会名	実施期間	講師人員	職種別参加人員	実施内容（具体的に記載すること）
医療連携フォーラム	令和5年11月29日	5人	医師 20人 看護師50人	<ul style="list-style-type: none"> ・医師による講演会 ・医師、看護師と意見交換会

(注) 「職種別」とは、医師、看護師、保健師、助産師、栄養士、薬剤師、その他に分類する。

(5) 静止画像等伝送装置導入状況
導入状況について

(6) 総合的な診療能力を持った医師育成実施状況

1. 指導医委員会開催実施状況

開催年月日	構成人員

(注) 別途研修プログラム等を添付すること

2. 指導医略歴

指導医氏名	へき地医療従事年数	指導時間/一週あたり	指導期間

(7) その他県及び市町村がへき地における医療確保のため実施する事業に対する協力等

--

令和6年度へき地医療活動事業計画

(病院名：天草中央総合病院)

(1) 無医地区及び巡回診療実施計画

市町村名	地区名	戸数	人口	巡回診療実施予定回数				備考
				第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	
		戸	人	()	()	()	()	

- (注) 1. 当該へき地医療拠点病院が担当する地域について「無医地区、無医地区に準ずる地区」(以下「無医地区等」という。)及び「巡回診療実施予定回数」を対応させて記入すること。
 2. 無医地区等の「地区名、戸数、人口」は、最近のものを記入すること。また、無医地区に準ずる地区の場合は「地区名」欄に準と記入すること。
 3. 「巡回診療実施予定回数」欄は、1巡回診療チーム1日1回として当該年度の予定回数(例：第1・四半期〇〇回)を具体的に記入し、上段()に当該巡回診療に係る実診療日数(0.5日を単位とする。)を記入すること。
 4. なお、複数の無医地区等を1回の巡回診療で行う場合は、該当する無医地区等をまとめて一括記入すること。その他積雪量、冬期「備考」欄は、その地区における診療場所(例：公民館の一室、小学校の医務室等)を具体的に記入すること。また、巡回診療実施人員を医師〇人、看護師〇人、看師〇人、運転手〇人と具体的に記入すること。また、巡回診療実施人員を医師〇人、看護師〇人、看師〇人、運転手〇人と具体的に記入すること。

(2) へき地診療所医師等派遣計画

へき地診療所等名又は特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣計画(日数)				備考
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	
湯島へき地診療所	上天草市	上天草市	常勤	医師	3	3	3	3	整形外科医師 月1回

(3) へき地診療所代診医等派遣計画

へき地診療所等名又は特例措置許可病院	開設者	所在地	運営状況	職種区分	派遣計画(日数)				備考
					第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	

- (注) 1. 「運営状況」欄は、現在の状況及びへき地医療拠点病院から派遣を受ける前の状況についてそれぞれ常勤、非常勤(週〇回〇〇病院から派遣等)、休診(〇年〇月〇日より休診)等を具体的に記入すること。
 2. 「派遣計画」欄は、当該へき地診療所に対する医師等の派遣予定の日数を職種ごとに四半期別に記入すること。
 3. 医師等派遣計画の「備考」欄は、派遣する医師について「〇〇科 週〇回」等参考となる事項を記入すること。
 4. 代診医等派遣計画の「備考」欄は、派遣を必要とする理由(見込)を記入すること。

(4) へき地の医療従事者に対する研修会実施計画

研修会名	実施期間	講師人員	職種別 参加人員	実施内容 (具体的に記載すること)
医療連携フォーラム	令和6年10月頃	5人	医師 20人 看護師50人	<ul style="list-style-type: none"> 医師による講演会 医師、看護師と意見交換会

(注) 「職種別」とは、医師、看護師、保健師、助産師、栄養士、薬剤師、その他に分類する。

(5) 静止画像等伝送装置計画
導入計画について

(6) 総合的な診療能力を持った医師育成計画

1. 指導医委員会開催計画

開催予定年月日	構 成 人 員
開催時期未定	専攻医育成のための勉強会予定 (研修内容については今後検討)

(注) 別途研修プログラム等を添付すること

2. 指導医略歴

指導医氏名	へき地医療従事年数	指導時間/一週あたり	指導期間
木山 貴彦	3年	1時間/週	令和6年4月 ～令和7年3月

(7) その他県及び市町村がへき地における医療確保のため実施する事業に対する協力等

--

